

# ニューカッスル大学語学研修参加報告書

外国語学部英米学科 2 年（参加当時）

## 1. はじめに

私は 2 月 10 日から 3 月 7 日の約 4 週間、オーストラリアのニューサウスウェールズ州にあるニューカッスル大学語学研修に参加しました。今回は、4 週間の滞在期間に体験した内容を「学校生活」「放課後・休日」「ホストファミリー」の項目に分けて報告します。

## 2. 学校生活

私が通った学校では、「Upper Intermediate」と「Elementary」の二つのレベルにクラス分けがされており、それぞれさらに 2~4 つのクラスに細かく分けられていました。私は「Upper Intermediate」のクラスに所属し、クラスメートには日本人のほか、サウジアラビア、中国、ラオス出身の学生がいました。しかし、16 人中 11 人が日本人という構成であり、日本人同士で話す機会も多くありました。

学校生活は、午前 2 時間の授業の後に 2 時間のお昼休みがあり、その後さらに午後 2 時間の授業が行われるというスケジュールでした。授業は週ごとに決められたトピックに沿って進められ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 技能をバランスよく伸ばすことを目的としていました。授業の雰囲気はとてもオープンであり、質問や発言は自由なタイミングで行うことができました。日本の授業では先生に指名されて発言することが多いですが、こちらでは積極的に自分から話す姿勢が求められていた点が印象的でした。

また、日本人の学生が多かったため、授業中にわからないことがあれば日本語で質問できる環境ではありましたが、ペアやグループワークではできるだけ多国籍のクラスメートと活動することを意識しました。自分から英語を使う環境を作ることで、実践的なコミュニケーション能力を高めることを目標としました。また、2 時間と長い昼休みの時間を活用し、積極的に多国籍のクラスメートと会話をしたり、一緒に運動をしたりすることで、スピーキング力の向上に努めました。自分の課題であったスピーキング力を鍛える良い機会となり、日々の努力が少しずつ自信につながっていきました。



### 3. 放課後・休日

放課後は午後 3 時に授業が終わるため、そのまま帰宅する日もあれば、友人とショッピングをしてから帰ることもありました。オーストラリアではお店が閉まる時間が早く、木曜日が唯一遅くまで営業しているため、放課後に買い物をすることが多かったです。また、学校から出ているシャトルバスを利用し、ニューカッスルの街へ出かけたり、ビーチへ行ったり、外食を楽しんだりすることもありました。

休日には、ホストファミリーが車で動物園やニューカッスルビーチに連れて行ってくれました。また、3 週目の週末には、同じホームステイ先の友人とシドニーへ 1 泊 2 日の旅行に行きました。ニューサウスウェールズ州では、1 週間の公共交通機関の利用料金が 50 ドルの上限があるため、通学で週に 50 ドルほど使う私は、シドニーまでの電車も無料で利用することができました。シドニーでは、州立図書館や美術館、植物園、水族館などを訪れ、夜はハーバブリッジの見える場所でディナーを楽しみました。

特に印象に残っているのは植物園の広大さです。都市部にありながら自然を身近に感じられる環境であり、時間の流れがゆったりとしているように感じました。オーストラリアに到着した直後は交通機関のストライキが発生していたため、シドニーへの旅行も交通機関の運行停止が懸念されましたが、大きな影響を受けることなく、予定通り滞在することができました。



#### 4. ホームステイ

私が滞在したホームステイ先は、高校生と中学生の娘がいる四大家族で、ホストファザーとホストマザーがいらっしゃいました。家は学校から電車で約40分の場所にあり、毎日ホストファザーが駅まで送迎をしてくださっていました。この送迎の習慣は、日本との文化の違いを感じた点の一つです。また、送迎の車の中での会話をはじめ、ホストファミリーとのやりとりを通じて、自分の英語力が最も向上したと感じました。

家では、家族がそろう日はみんなでディナーをとり、週末には家にあるプールで遊んだり、バーベキューをしたりして家族の時間を楽しみました。この時間には、その日にあった出来事を話したり、オーストラリアと日本の文化の違いについて話し合ったりすることもあり、貴重な異文化交流の機会となりました。また、到着した当日に家でのルールを説明されましたが、基本的には「それ以外は自由に過ごしていい」といったスタンスでした。しかし、共同生活をさせている以上、ホストファミリーに不快な思いをさせないように、最大限の配慮をしながらも楽しく4週間を過ごしました。

食事については、家庭によってさまざまですが、私のホームステイ先ではとても健康的な食事が提供されていました。朝はシリアルを自分で用意し、昼はホストファザーが作ってくださったサンドイッチやトルティーヤを果物やスナックとともに学校へ持参しました。夜はチキンと野菜を中心とした食事が多く、栄養バランスのとれた食生活を送ることができました。

一方で、反省点として、ホストファミリーと話す時間をもっと作るべきだったと感じています。夕食が終わると、それぞれ自分の部屋に戻ったり、各々の時間を過ごしたりすることが多く、思っていたよりも会話の時間を確保することができませんでした。そのため、もっと自分から積極的に話しかけたり、日常の出来事を話題にしたりするべきだったと感じました。特に、ホストファミリーとの会話は英語力向上のためにも貴重な機会だったので、次に同じような環境に身を置く機会があれば、積極的にコミュニケーションをとる努力をしたいと思います。



## 5. おわりに

今回の留学を通して、英語力の向上だけでなく、異文化理解や異なる価値観を持つ人々との交流の大切さを学ぶことができました。学校では、さまざまな国の学生と共に学ぶ環境の中で、自分から積極的に英語を使う姿勢を意識しながら過ごしました。また、放課後や休日には、多くの場所を訪れ、現地の生活や文化に触れることで、オーストラリアの魅力を肌で感じることができました。

ホームステイでは、ホストファミリーとの生活を通じて、日常の中で自然に英語を使う機会を得ることができました。その一方で、もっと積極的に会話の機会を増やす努力をするべきだったという反省もあります。この経験から、自分から行動を起こし、積極的に関わることの大切さを改めて実感しました。

今回の留学で学んだことを今後の学習や生活に活かし、より広い視野を持って成長していきたいと思います。短期間ではありましたが、この貴重な経験を通じて得た学びや出会いは、今後の人生において大きな財産になると感じています。

